

清月記のある町並み散歩

Vol.11 富谷町鷹乃杜

富谷町は近年、仙台のベッドタウンとして位置づけられる伸び盛りの町だ。幹線道路の両側にいくつものニュータウンが誕生し、それに伴い商業施設や企業進出も盛んである。

このエリアで比較的早い時期に、住宅街としての街並みを形成してきたのが鷹乃杜だ。ようやく秋の気配が混じりはじめた空気を吸い込みながら、国道4号線交差点から緩やかな坂を登っていくと、小高い丘が見えてくる。そのてっぺんに立っているのが、この地区的シンボルともいえる「かめ杉」だ。

江戸時代、この一帯は伊達政宗の御鷹場だったそうで、あるとき鷹狩りをしている最中、大切にしていた鷹が突然死んでしまった。いたく悲しんだ政宗は近所から甕をもらい、丁重に鷹を葬った。その際に植えた杉が今では樹齢400年弱、根回り約7メートルもの堂々

たる巨木に成長したというわけである。一見するととても杉の樹形に見えないのだが、小高い丘に立っているため、過去に落雷を受けて幹が裂けてしまい、その結果4つの太い幹が広がる独特の木の形をしているのだという。

富谷は古くは奥州街道沿いの宿場町として栄え、十の宮があつたことが町名の由来と伝えられる。その十の宮の中で唯一現存するのが、日吉団地入り口にある日吉神社。また大清水の石盥(せっかん)と呼ばれる湧き水があって、今は元の場所から移されたそうだが、奥州街道を往来した人馬が小休止をとった際に喉を潤す、石清水だった。

新町地区には、本陣跡や白壁など往時を伝える街並みも残るが、左党の間では宮城県最古の酒蔵があることでも知られる。内ヶ崎酒造店は地酒『鳳陽』で有名だが、創業は寛文元年(1661)というから驚く。

魅力ある住宅地や産業集積が進む近代的な顔を持つ一方で、歴史ある宿場町の名残や、大亀山森林公園などたっぷりと自然を残すエリアも共存する、実に多彩な顔を持つ町である。

文／三浦博史 イラスト／岩渕忠昭



鷹乃杜『かめ杉』

故人のためのご遺族のための、参列者のための“やさしい”時間 一日一組の貸切ホール



石巻大街道斎場 清月記

10/9[㊐]・10[㊑] オープン

創業25周年を迎えることができました。これまでの、たくさんの感謝の気持ちに変えて—
仙台若林斎場：清月記 10月31日開催 9:00～18:00

抽選会
【ご来場者全員参加】
当日、会場内でお配りする抽選券に、住所・氏名をご記入の上、会場内の抽選箱にお入れください。
【抽選は17:00に行います。】

- 1等 液晶テレビ・32インチ 1本
- 2等 JTB旅行券・3万円 1本
- 3等 ニンテンドーDS 1本
- 4等 折り畳み自転車 1本
- 5等 鉢もの 10本

清月記コンサート 聖なる響きに包まれて
[時間] 16:00～17:00 定員:150名様
女性3人皆様おなじみのカルテットでじみのなって、アペマリアを演奏いたします。
事前の申込みが必要です。
お申込みは ☎ 0800-888-5777

ペット供養祭 参加無料
[時間] 14:00～14:30 事前の申込みが必要です
ご参加プレゼント
クリスタル風水ストラップ
皆様が心から愛したペットを、合同で供養いたします。彼らとの楽しかった暮らしや美しい思い出して心に刻まれますように…。皆様の悲しみを、ほんの少しでもやわらげるお手伝いができるば幸いです。
ご用意できる方は、お写真・思い出の品をお骨をお持ちください。

富谷斎場 清月記
一日一組だけの貸切会館
わが家のように、ゆったりと
家族の大切な時間を過ごすために

国道4号線を北上し、富谷の消防署を少し過ぎたところに、富谷斎場 清月記がある。色づく街路樹に映えるベージュの気品ある外観。一歩中に入れば、国道の騒音が嘘のように静謐の気に満たされる。間接照明のやわらかな光が磨き上げられたエントランスの床を照らし、美しい花々が優しく香る。

新興住宅地が多い地域にあって、ここ富谷斎場は、故人と大切なお別れの時を我が家にいるように過ごしていただくためにと、6年前、一日一組の貸切会館として誕生した。

会館自体が平屋で、一つひとつゆったりとした造り。エントランスをはさんで大ホールと小ホールがあり、ホールからひと繋がりの控え室は、故人様と少しでも身近に一緒にいられるようにという心遣いから段差もない。10畳の2間続きに、布団もご用意。キッチン、浴室、トイレもバリアフリーで、ご家族の時間を安心して心ゆくまで過ごせるようにと整えられている。

控え室入り口に、一段と美しく盛られた花アレンジには、ご家族への慰めの心がそこはかなく感じられる。「朝一番の仕事は心を込めて花をメンテナンスすることです」。今年入社の渋谷美由紀さんは、先輩の教えるものとに日々勉強、と話す。先輩である鈴木ゆみさんは、入社3年目。「初めてのこと、戸惑われていらっしゃるお客様にはアドバイスすることもありますが、何よりご要望に応え、また、弔問の方にも失礼のないようにと努めています」。家族の2日間を、一歩間を取りながら、心温かな気配りを働く清月記のスタッフ。「前に一度利用された方が、納得のいく見送りができるとても良かったので、今回もお世話になりますと、いっていただくこともあります、うれしく思っています」と、優しい笑顔で鈴木さんが話してくれた。

車で仙台中心街からは25分、大和町からは5分という利便性高い立地も特長である。

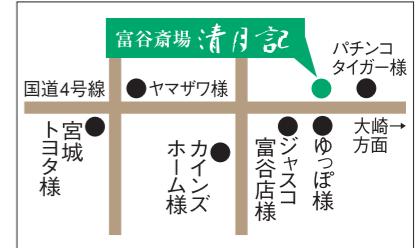


何より、ご家族のご要望を大切にして心を配りますと、鈴木ゆみさん

富谷斎場 清月記
エクステナルホール(150名まで収容)
リファインホール(50名まで収容)



各ホールともキッチン・浴室付の室控え室あり。
ラウンジ、身障者用多目的トイレ、駐車場40台分
宮城県黒川郡富谷町鷹乃杜2-1-10
☎ 022-348-5777 www.seigetsuki.co.jp



オードブル試食会
11:30～無くなり次第終了
ご法事料理の展示のはか、オードブル料理をご試食いただけます。

縁日コーナー チャリティ・10円 9:00～無くなり次第終了
○フランクフルト ○綿アメ ○豚汁 ○野菜の詰め放題

喫茶コーナー 無料 9:00～16:00
コーヒー(ホシマ珈琲)
緑茶・抹茶(井ヶ田製茶・緑香園・矢部園)

数珠・制作教室 チャリティ・100円 9:00～無くなり次第終了

25年分のありがとうフェア 清月記 フリーコール 0800-888-5777
記念イベント大好評 第6弾

www.seigetsuki.co.jp | 清月記 | 検索

